

1 白山手取川ジオパークの推進に関する連携協定締結団体

白山手取川ジオパーク推進協議会は互いに連携・協力して白山手取川ジオパーク活動に取り組み、白山市の持続可能な発展に寄与することを目的に下記団体と連携協定を締結しています。

(内容)

- ・ジオパークの普及に関すること
- ・ジオサイトの保護に関すること
- ・ジオパークを活用した教育に関すること
- ・ジオツーリズムの推進に関すること

NO	締結日	団体名
1	H30. 12. 20	白山しらみね自然学校
	活動概要	白峰地域を訪れる人々への情報提供と地域資源の保全と活用等を行い、白峰の自律的で持続可能な地域振興策を実現することを目的に2009年（H21）に地域住民が主体となり設立された。 ジオツアー、エコツアーの実施、地域ガイド事業、地域資源の保全活動などを行っており、2016年（H28）からは、金沢大学国際機構と連携し、ジオパーク、ユネスコエコパークを活用した山村文化体験事業などを行っている。活動拠点施設「与平」は「金沢大学国際機構SDG s ジオ・エコパーク研究センター」として位置付けられている。
2	H31. 2. 22	加賀白山ようござった
	活動概要	白山市内で活動するガイド団体であり、公益社団法人石川県観光連盟が主催する加賀百万石ウオークのガイドもしている。 地元の自然・歴史・伝統文化などの専門知識を有する会員が活動しており、ガイドブックに載っていない白山ろくの魅力を紹介している。また、白山ろくの自然を楽しむ12のガイドコースを独自に設けている。
3	H31. 2. 22	美川おかえりの会
	活動概要	白山市内で活動するガイド団体であり、公益社団法人石川県観光連盟が主催する加賀百万石ウオークのガイドもしている。 美川地域を中心に、「美川まちめぐり双六」の作成など、地域の観光・歴史・文化・伝統工芸などを発掘・発信している。また、地域の魅力を堪能できる10のガイドコースを独自に設けている。
4	H31. 3. 22	雪だるま実行委員会
	活動概要	白山市内において、ジオパークのテーマである雪と白山手取川の大地を活用し、県内外に発信する代表的なイベントを開催している。 毎年2月に白峰、桑島で雪だるままつりを開催している。
5	H31. 3. 22	白山スノーフェスティバル実行委員会
	活動概要	白山市内において、ジオパークのテーマである雪と白山手取川の大地を活用し、県内外に発信する代表的なイベントを開催している。 毎年2月下旬に道の駅瀬女駐車場にて、白山スノーフェスティバルを開催している。
6	H31. 3. 22	白山ジオトレイル実行委員会
	活動概要	白山市内において、ジオパークのテーマである雪と白山手取川の大地を活用し、県内外に発信する代表的なイベントを開催している。 毎年8月に白山ろく（鶴来～白峰）において、白山ジオトレイルを開催している。

NO	締結日	団体名
7	H31. 4. 17	白山市スポーツ協会
	活動概要	白山市の大地や雪、水を恵みとして活動し、元気、活力、そして、生きがいを生み出すスポーツを通して、ジオパークの意識を持つことにより、スポーツとジオパークの双方の普及・啓発及び地域の持続可能な発展の向上に繋げている。
8	H31. 4. 17	白山一里野温泉観光協会おかみの会
	活動概要	尾添、一里野地域を中心にノルディックウォーキングなどの様々なイベントを開催するとともに、白山手取川ジオパーク初のジオ弁を販売するなど、積極的に活動している。 今後もジオパークをテーマとした活動を継続することにより、他の地域のモデルとなり、市民参画意識の向上に繋げている。
9	R元. 5. 14	東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会
	活動概要	東大寺領横江荘立荘1200年の節目に当たる昨年設立され、春に手業による古代米（紫黒米）の田植えを行い、夏は指定無形民俗文化財「横江の虫送り」の太鼓と松明で秋の豊作を祈願。秋に稲刈りを行い、収穫した古代米を東大寺に奉納している。 東大寺領横江荘遺跡は、手取川扇状地で有数の穀倉地帯であった当時をしのばせる白山手取川ジオパークの見どころの一つであり、古代米の栽培を通じて、ジオパークの普及啓発と市民参画意識の向上に繋げている。
10	R元. 6. 19	アサギマダラファンクラブ白山
	活動概要	白山ろくで見られる水色の大きな蝶、アサギマダラの生態や移動の調査・研究と情報共有を行っている。アサギマダラは、白山から海まで、遠くは南西諸島まで1,000km以上飛んでいくものもあり、旅する蝶ともいわれている。当クラブのマーケティング調査により、アサギマダラの生態の解明をはじめ、白山手取川ジオパークの自然に興味を持つことやアサギマダラにより全国的なネットワークの広がりが期待される。
11	R元. 6. 19	白山麓ぶなもり自然塾
	活動概要	尾口地域を中心に白山ろくの自然を楽しむイベントを継続して開催している。国際高専との交流にも積極的で、学生が自然を楽しみながら学ぶよい機会にもなっている。 今後もジオパークをテーマとした活動を継続することにより、他の地域のモデルとなり、自然環境学習及び市民参画意識の向上に繋がること期待される。
12	R元. 7. 23	美川自然人クラブ
	活動概要	美川地域の清流・湧水のシンボルであるトミヨを保護し、身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住みよく快適で明るい地域を作るために活動している。川掃除、草刈、水草の手入れのほか、淡水魚や水生植物、鳥類、昆虫など生き物に関する観察会、学習会、講演会を開催している。美川自然人クラブの活動は、ジオパーク活動そのものであり、自然環境学習及び市民参画意識の向上に繋がる。
13	R元. 7. 23	ひまわりの集い実行委員会
	活動概要	ひまわりの写生会、ひまわりロゲイニング、ジビエバーガーコンテスト、ドローンによるひまわり畑の撮影コンクール等、上野町周辺で、ひまわり畑を活用した事業を実施している。 ロゲイニングでは、ジオパークの見どころを盛り込み、大地、自然、歴史文化など地域の資源を活用し、地域活性化に資する事業であり、市民参画意識の向上が期待される。

NO	締結日	団体名
14	R2. 7. 13	白山吉野地域振興協議会
	活動概要	多品目の異業種作家を誘致し、新デザインの考案及び新商品の開発を行うなど地場産業の拠点となっている。また、関西学院大学の白山ろく実習を受入れ、活動をサポートするなど、地域の文化及び教育の場としての役割を担うとともに、創作体験等を通じて観光誘致促進を図っている。エリア内の自然の恵みを表現し、活用した企画展・体験教室等は、これまでも年間を通し実施されてきたが、今後、ジオパークを意識し連携した事業の実施により、周知啓発、地域活性化に繋がることが期待される。
15	R2. 8. 11	白山市ふるさと歴史研究協議会
	活動概要	平成17年の市町村合併に伴い、松任郷土研究会、鶴来ふるさと歴史研究会、美川郷土史研究会が合併し、白山市ふるさと歴史研究協議会が発足した。市内、県内を中心に、風土や生活、文化、産業など各種歴史の調査、研究、発表を続けている。 今後、一層地域の歴史面での理解が深まるとともに愛着が増し、周知啓発、地域活性化に繋がることが期待される。
16	R2. 9. 15	白山自然ガイドボランティア友の会
	活動概要	白山国立公園及びその周辺地域において、自然体験活動を実施し白山を訪れる人々に自然の素晴らしさや大切さ、人と自然との共生について考え理解してもらうこと等を目的に設置。市ノ瀬ビジターセンター等で自然解説、ガイドウォーク、かんじきハイク等を実施している。主な活動エリアが白山手取川ジオパークのエリアであるとともに、白山ユネスコエコパークのエリアでもあるので、双方のプログラムの生態系分野の周知啓発となる。
17	R2. 12. 10	白山市松任写真同好会
	活動概要	白山市松任写真同好会は、1977年に発足し、市内はもとより、県内外をエリアに、風景や祭り等を中心に撮影され、市民工房うるわしをはじめ市内の施設で展示会を開催している。また市観光連盟や白山商工会議所の会報表紙用の写真を提供している。
18	R3. 3. 22	一般社団法人 石川県地質調査業協会
	活動概要	一般社団法人石川県地質調査業協会は、石川県内の地質調査業を営む企業で構成されており、平成29年度より当協議会と共催で「石の標本づくり」のイベントを実施している。今後、ジオパークを意識し連携した事業の実施により、周知啓発、地域活性化に繋がることが期待される。
19	R3. 4. 13	東二口文弥人形浄瑠璃保存会
	活動概要	東二口地区に伝承されてきた文弥人形浄瑠璃は、国指定重要無形民俗文化財である。東二口地区は、エリアの中でも豪雪地帯に当たる。地域の地形、気候、自然に合わせた独自の生活、歴史文化があり、300年あまりの長い間、この文弥人形浄瑠璃が伝承されてきたことは、ジオパークの要素が深く、ジオパーク体験ツアーの見どころの一つとしている。今後も引き続き、地域の人々とともに活動が継続され、ジオパークの普及啓発に資することが期待される。
20	R3. 4. 13	深瀬木偶回し保存会
	活動概要	深瀬に伝わる木偶回しは、東二口文弥人形浄瑠璃とともに、国指定重要無形民俗文化財である。深瀬地区は、エリアの中でも豪雪地帯に当たる。地域の地形、気候、自然に合わせた独自の生活、歴史文化があり、長い間、木偶回しが伝承されてきたことは、ジオパークの要素が深い。昭和54年の手取川ダム完成に伴い、現在は、移転先の深瀬新町（鶴来地区）内の保存会館で上演されており、今後も引き続き、地域の人々とともに活動が継続され、ジオパークの普及啓発に資することが期待される。

21	R3. 4. 13	深瀬桧細工工房
	活動概要	白山手取川ジオパークのテーマである雪と白山手取川の過酷な自然環境を生きぬいてきた人々が伝えてきた桧笠作りの技を後世に伝えるために、市内において桧細工教室を開催している。今後、一層のふるさとの理解・愛着で、双方の周知啓発、地域活性化に繋がるもことが期待される。
22	R3. 5. 13	つるぎふるさと民話の会
	活動概要	鶴来地区及び近隣地域における民話などについて、長きにわたり調査し、実際に紙芝居やカルタを作成し、上演している。今回、連携協定を締結することにより、郷土愛の醸成に繋がる持続的な伝承活動と、市民参画意識の向上が期待される。
23	R3. 12. 20	白山温泉郷組合
	活動概要	白山温泉郷組合は平成26年9月に設立し、現在、白山市内の温泉施設27か所（源泉15か所）で構成されている。本市において温泉資源は、ジオパークの貴重な構成資源であり、温泉施設とジオスポットの組み合わせ企画等で、今後より一層の誘客促進が期待される。
24	R4. 9. 25	Q I N O (キノ)
	活動概要	Q I N Oは2019年に(株)ファブリックが中心となり、CMのロケ先で知り合った白山市の人々との対話をきっかけに「木をつかい、山を育て、水を守る」というビジョンを掲げて立ち上げたプロジェクトであり、地域共創活動を通じて、地域経済の発展やその収益を山の保全に還元することで地域資源の保護などに貢献している。構成メンバーは東京を活動拠点とするベンチャー企業である(株)ファブリックの社員をはじめ、白山市内の造林業、宿泊業を営む事業者など多岐にわたる。これまでの取り組みとしては、クラウドファンディングで行った白山市白峰地域に自生する香木クロモジを使用した「Q I N O S O D A (キノソーダ)」や紙石鹸の開発・販売のほか、地元小学生対象の木育授業(Q I N O school)の実施がある。
25	R6. 2. 21	サテライトサークル しらみね大学村
	活動概要	サテライトサークルしらみね大学村は白峰地域を拠点に2022年11月4日発足。大学生が定期的に地域を訪れ、地域の人と交流することで関係人口として地域に貢献することを目指して活動している。 「クエスト」：地域住民との交流の中で与えられた行事の手伝いや落ち葉掃きなどの「クエスト」に取り組み、おにぎりなど金銭でない報酬を受け取るなど、地域としては人手不足解消や文化継承につながり、学生側は地域とより深く関わる事が出来る活動。 このほか、地域行事への参加や、体験学習としての報恩講の開催、白山手取川ジオパークや白山ユネスコエコパークの事業への参加や運営協力などを行っており、若い世代への発信力などジオパークの普及啓発に期待出来る。

※活動概要は連携協定締結時のものです。

2 白山手取川ジオパークの自然保全に係る情報提供に関する協定書

市民共有の貴重な財産である、山から海までの多様性に富んだ豊かな自然環境で構成されている白山手取川ジオパークの資源を保全するため、相互に協力してジオパトロールを行うことにより、異変の対応の迅速化を図ることを目的とする。

締結日	団体名
H24. 9. 21	郵便事業株式会社新松任支店
H24. 9. 21	郵便事業株式会社新金沢支店
H24. 9. 21	郵便局株式会社加賀北部地区連絡会白山部会
H24. 9. 21	郵便局株式会社加賀北部地区連絡会石川部会

3 白山手取川ジオパーク推進協議会と白山ユネスコエコパーク協議会との連携協定書

互いのプログラムの理念を尊重し、連携・協力することにより、価値ある地質・地形に着目し、地域振興を進めるジオパークと生態系保全の観点から自然と人間社会の共生に取り組むユネスコエコパークの相補的・相乗的な推進を図るとともに、共通のフィールドにおける教育・研究活動の活性化や広域的なツーリズムの展開などに努め、地域社会の持続可能な発展に寄与することを目的とする。

(内容)

- ・天然資源及び自然環境の保護・保全に関すること
- ・地球科学及び自然環境に関する調査研究及び教育に関すること
- ・ツーリズムの推進に関すること
- ・情報発信及び普及啓発に関すること
- ・可視性の向上に関すること
- ・その他目的を達成するために必要なこと

締結日	団体名
R3. 4. 1	白山ユネスコエコパーク協議会